

政府情報システムに関する会計検査の結果について

<検査の結果の主な内容及び所見>

1 政府情報システムの整備及び運用に係る予算の執行状況

繰越率や不用率が高くなっているシステムが特に整備経費について見受けられるなどした。

所見: 執行額等を含めた予算の執行状況について、各府省等において把握することを検討すること。デジタルインフラの整備に係る予算について、執行額等の情報を把握してP D C Aサイクルを適切に機能させるために活用していくことを検討すること

2 各府省等が締結する契約の競争性、経済性の状況

競争契約における1者応札の割合が高くなっているなどしていた。

所見: 競争を阻害しないような仕様とするなどの工夫により競争性、経済性の向上を図ること

3 政府情報システムの利用状況及び効果の発現状況

利用状況が低調となっているシステムが見受けられるなどした。利用状況等を把握するための目標等が設定されていないシステムやモニタリングが実施されていないシステムが見受けられた。

所見:

- ・マイナンバー制度関連システムについて、ITリソースの利用状況を注視しつつ、適切な整備を行っていくこと。マイナンバーの情報連携に係る監視・監督業務の取組について、個人情報保護委員会において有効な方法となっているか継続的に検証していくこと
- ・電子申請等関係システムにおける電子申請率の向上等を図るための方策を検討すること。各府省等が行う調達について、順次電子契約を利用するよう周知、啓発等に努めること
- ・人事・給与関係業務情報システム及び旅費等内部管理業務共通システムの利用促進に向けた取組等について適時適切に検討するように助言及び支援を行うこと
- ・プロジェクト計画書等を作成して適切な目標及び指標を設定し、目標値に対する実績値の取得方法等をプロジェクト管理要領に明記するとともに、適切にモニタリングを行い、目標の達成に向けた継続的な改善に取り組んでいくこと

4 政府情報システム全体の効率化及びコスト削減に向けた取組状況

運用等経費の削減対象となっているシステムの令和2年度予算額を集計して、削減基準額との差額を算出すると、削減見込額との間に相当の開差が見受けられるなどした。

所見: 運用等経費の削減実績額の算定について検証を行い、算定に当たっての方法等を各府省等と共有するなどして適正な削減実績額の算定に努めること